

夕張市議会だより

2011年11月1日

第14号

議会運営委員会

市民・団体との懇談会を開催

初の小学生との意見交換も

市議会では、8月30日、31日の両日、市内2箇所で開催した。市民懇談会を開催しました。

また8月30日には、ゆうばり小学校の6年生約70名が、議事堂を訪れ、議員との意見交換を行いました。これは市議会としては初の試みであり、学校側では「総合学習」の授業として、取り組みでいただきました。

◇夕張の自然を活用した遊び場は作れないですか？

◇夕張の軽自動車税はなぜ高いのですか？◇議員以外の仕事はしていますか？

などの質問をいただき、それぞれ各議員が答えさせていただきました。

時間の制約もあり、参加した児童からの質問、すべてにお答えすることはできませんでしたが、お答えできなかった質問などについては、後日、各議員が取りまとめ、ゆうばり小学校へお届けしました。

◎住民懇談会

住民懇談会は、清水沢地区公民館、はまなす会館の2箇所で開催し、83名の市民の皆様にご参加いただきました。

両会場とも、はじめに高橋議長から全員協議会を通じて、議会改革議論を展開してきている経過と、住民懇談会の開催趣旨、今後の議会の取り組みなどについての報告をさせていただきました。

参加者の皆様方からは、財政再生計画についての議員個々の考え方・シニアパワダム



意見交換会の様子(8月30日)

周辺整備についての要望・上水道第8期拡張事業計画と料金改訂・会派について・防災のまちづくりについて・重油消失について、などご意見や要望をいただきました。

また、懇談会開催についての評価や、開催方法についてのご意見もいただいたところ。それぞれの意見・ご要望については第3回定例市議会や、行政常任委員会を通じて市側にお伝えするとともに、予算措置・施策として実施が必要と思われるものについては、今後協議を行ってまいります。

◎各団体との懇談会

また、9月22日に開催した各団体との懇談会には、市内15団体から18名の皆様にお集まりいただき、各団体ごとの課題・要望を承りました。

参加団体からは、地域振興について・炭層ガス活用について・冬期除雪体制について・労働力の確保、住宅等整備について・各種補助金の確保について・子育て世代が安心して住める政策について・特別支援学級の職員体制についてなどのご意見・要望をいただきました。

◎両懇談会を通じて

夕張市の財政再建計画・財政再生計画を通じ、今年度末で5年を経過することとなります。

この間、財政赤字の解消に向け、市民の皆様、各団体の取り組み・活動においても多大なご協力を頂き、計画が進められています。

しかし今後の夕張のまちづくりを見据えた時に、あらためて市民生活や各団体の置かれている実態、課題を市側に提示し、検討協議をしていく必要があると、議員全体でも確認してまいりました。懇談会でいただきました課題等については、市と協議し、課題を共有する中で課題解決の方向性を見出し、てまいります。



福島の子どもの来夕を議会も歓迎しました

ご意見・ご感想をお寄せください

夕張市議会事務局
本町4丁目市役所内
電話 4頁に記載

■	編集委員	長	小林 尚文
■	委員	副委員長	大山 修二
■	委員	委員	熊谷 桂子
■	委員	委員	島田 達彦
■	委員	委員	厚谷 司

夕張市議会では議会の活動を多くの市民の皆様にお伝えするために、「議会だより」を発行しています。また、市役所本庁・南支所及びふれあいサロンにも配布しております。

第3回定例会の

一般質問の内容と答弁

◆審議件数◆

議案	9件
認定	9件
選挙	1件
報告	7件

大山修二議員質問

◎「ユーパロの湯」活用事業者の再公募について

■質問

(1)「幅広いアイデアを募集する」との表現の内容について

(2)夕張市で持っている情報の公表について

(3)温泉の再開にむけての東京都との連携について

(4)温浴施設の他、源泉付近での事業提案について

■答弁

(1)幅広いアイデアの募集については、「温泉の有効活用を図り、都市と山村との交流や地域住民の健康増進、さらには就労の場の創出」等の

目的のほか、それ以外の温泉熱の活用についても提案していただきたいと考えております。

(2)「東京都との連携について」ですが、直接的な支援は困難であります。東京都に限らず、様々な繋がりを通じて広くPRをしていきたいと考えております。

また今後、札幌ゆうばり会・旭川夕張会・東京夕張会、その他あらゆる機会でき、積極的にPRをしていきたいと考えております。

(3)「源泉付近での事業提案について」ですが、2号源泉から流れ出ている温泉の利活用も本施設と一体となる事業であれば、それも提案の一つと考えております。

市民の多くの方が温泉施設としての再開を望んでいることは承知しておりますし、市民にとつてより良い提案を一つでも多く出していただくために、あらゆる機会に積極的にPRをしてまいります。



美しい紅葉も夕張の魅力(10月11日)

高間澄子議員質問

◎再生計画について

■質問

(1)今日までの交渉(総務大臣・知事)の経過に伴い、今後の国・道との交渉・協議について

(2)現行の再生計画、特に期間短縮に向けた今後の対応、考え方について

〈質問の趣旨〉

2010年度から「財政再生団体」に移行され、計画には「市民生活の安心・安全の維持」、「地域の活力維持」など地域の再生と財政再建の両立を掲げ、74事業を盛り込み赤字返済の

素案を策定。その後、道の支援策で1年短縮、交付税増額を見込めることによりさらに1年の期間短縮が可能となり夕張市再生「17年」で最終案が固まったところであります。

道や市はさらなる期間短縮に向けて国に支援を求めて行く方針を陳べ、当時の大臣も関係省庁に支援策の検討を要請したとされるが、先行きは不透明のままです。

今後国・道との交渉・協議についてはどの様にしていこうと考えておられるのか。また再生計画策定段階に於いては102項目の懸案事項があげられたが、全て盛り込む事は困難であり、緊急発生時に計画変更で対応していくものであります。また、町の活性化と市民の安心・安全を守り、どの様に期間の短縮を考えているのか。

■答弁

市長就任後、高橋知事を訪問し、また片山前大臣にも会い、本市の現状と更なる支援について要請を行った。これからの財政再生計画の当面する問題について、総務

大臣、北海道知事との三者による懇談を行い、直接協議をしていく事は大変意義のあることと認識している。

道との連携を深め、要望や要請項目を整理し、国に働きかけていく。また東京都とも連携しながら、必要に応じて課題の解決に取り組んでいきたい。

熊谷桂子議員質問

◎シューパロダム周辺整備について

■質問

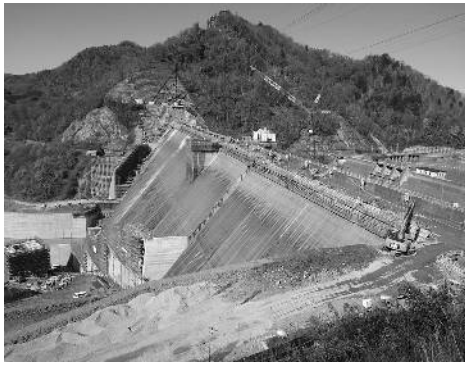
(1)周辺整備の進捗よく状況は

(2)周辺住民の課題は

(3)まちづくりの一環として、周辺整備をどう考えるのか

■答弁

財政破綻によって市が負担する事業は廃上になり、その後、ダム事業所と協議する中でパークゴルフ場が整備された。また、三菱大夕張鉄道保存会が活動している旧南大夕張駅跡地の駐車場整備や、地域の歴史的資料を展示しているダムインフォメーションセンターを南部まちづ



建設進む夕張シューパロダム

くり計画のビクターセンターとして使われる見通し。国道45号線の付替え道路は現道に沿って整備し、南部市街地住民の新たな除雪負担とはならない。「国の天然記念物」「道立自然公園」の地域性を遺産としてさらに、貴重な自然や産業遺産として最大限に活用し、南部地域の有効な振興策と考えている。

■要望

この地域は、夕張岳を含む富良野芦別道立自然公園の一角であり、夕張岳は山ごと国の天然記念物に指定されている。国のさまざまな助成金や補助金を活用し、将来に禍根を残さぬよう、まちづくりの一環として、夕張岳の自然や、炭鉱・林業など

の歴史を資産として守り育てる、大きな構想でのぞんでほしい。

◎脱原発・自然エネルギーで雇用を

■質問

(1) 泊原発に事故があった場合、風評被害も含め被害状況の予測は
(2) 夕張の自然・再生エネルギーの可能性について
(3) まちづくり・雇用対策としてとりくみを

■答弁

本市においても甚大な被害が及ぶと考えられるので、北電や国にしっかりと安全対策を要望する。市においても、水力発電や未利用地下資源活用の可能性を見出したい。

夕張市は国のエネルギー政策の転換により大きな影響を受けてきた。再びエネルギー政策の転換により、新たな雇用をつくり地域を再生していくことは、日本の復興にもつながるものとして国にも働きかけたい。

■要望

道や東京都の知恵も借りて、自然・再生可能エネルギーで雇用をつくるため、市

の総力を期待する。

藤倉肇議員質問

◎財政再生計画の進捗よく状況について

■質問

(1) 再生計画に搭載した中核事業の進捗よく状況及び今後の事業スケジュールは
(2) 東北大震災、台風12号等により国内における問題が山積される状況下で「夕張問題」が風化されないよう、「国・道」に対しての継続折衝が大である。新総務大臣と会談予定は
(3) 市長政策(公約)の「地域担当職員制度」の導入について現状をお聞きしたい

〈質問の趣旨〉
私の知る限りにおいては、七名の総務大臣いずれの方

も当市の「財政破綻の原因」はひとり夕張市だけの責任ではないとの認識を示され、公の場で国の責任についても言及されております。

私は歴代の総務大臣が変わるにつれて、「国の責任の部分」が薄れてきているのではないかと心配しており市長の考えをお聞きしたい。
また、東北大震災、台風の

被害など国の山積する多くの課題が最優先されるなか「夕張問題」が風化されないように、国に対しての折衝強化の必要について意見を述べました。

さらに財政再生計画に織り込まれている「市営住宅再編事業」、「し尿処理場の施設整備」については、特別の事情のない限り計画通り実施されるよう要望しました。

■答弁

(1)、(2)とも藤倉議員の見要望については同感として

(1) 当市の「新しいまちづくり」の根幹となるものであり、住みよいまちづくり、市民生活を優先し、必要によりは計画の見直しを含めて取り組んでいく。「し尿処理場の施設整備」については、現段階では実施に向けて、目下調査進行中である。

(3) 「地域担当職員制度」は市民と行政が協働して街づくりをすることを目指すものである。具体的には地域において活発に活動をさせている町内会の会合に参加し、地域の抱えている課題を把握し、地域または全市の問題解決にあたりたい。
来年の一月頃からモデル事

業を行い、平成24年度中に全市において実施できればと検討している。

厚谷司議員質問

◎平成24年度予算編成方針について

■質問

(1) 予算編成のスケジュールについて
(2) 編成にあたり、新たな観点での取り組みは
(3) 臨時費採択における判断基準は

■答弁

現在懸案事項の整理、公約実現に向けた課題整理を行っている。予算編成においては、12月上旬を目処に一次集計を行い、順位付けのうえで臨時費の選択を行いたい。
現在開催している「市長と話そう会」で、真に市民が望む事業があり、財政再生計画に搭載されている事業よりも優先されると判断すれば振り替えることも有り得る。

◎行政執行体制と労務管理について

■質問

(1) 普通会計職員(一般行

